

市制施行70周年記念 武蔵野市・ブラショフ市 友好交流25周年記念コンサート

武蔵野市友好と平和の第九

ルーマニア・ブラショフ・ フィルハーモニー交響楽団

Filarmonica Braşov Orchestra Simfonică



©Jean Michel Kaneko

指揮: 曾我大介

Program

曾我大介

ルーマニア民族舞曲

(武蔵野市・ブラショフ市友好25周年に寄せて/日本初演)

ポルムベスク

喜歌劇「クライ・ノウ(新しい月)」より

冒頭と終幕の合唱、ホーラ、娘たちと兵士の合唱 (日本初演)

ベートーヴェン

交響曲 第9番 二短調 作品125〈合唱付〉



清水理恵(ソプラノ)



高野百合絵(アルト)



芹澤佳通(テノール)



吉川健一(バリトン)

合唱: 武蔵野市・ブラショフ市友好交流25周年記念コンサート第九合唱団
(合唱指揮: 小津準策・小島聖史)

チケット専用電話番号 Tel. 0422-54-2011
(武蔵野文化事業団)

インターネット 【武蔵野文化事業団】で【検索】
<http://www.musashino-culture.or.jp/>

プレイガイド

窓口 武蔵野市民文化会館、武蔵野公会堂、武蔵野芸能劇場、
吉祥寺シアター、武蔵野スイングホール、
各市政センター
(発売初日の窓口販売はありません)

2017年11月23日(木・祝) 14:00開演(13:30開場)

武蔵野市民文化会館大ホール

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により内容が変更になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

主催: 武蔵野市、公益財団法人武蔵野市国際交流協会
共催: ルーマニア・ブラショフ市

Acest concert este realizat prin sprijinul Primăria Municipiului Braşov.

協力: ルーマニア大使館、公益財団法人武蔵野文化事業団

チケット 7月22日(土)10:00~ 一般発売

全席指定 3,500円 武蔵野市民・アルテ友の会 3,000円



ルーマニア
武蔵野市
ROMANIA MUSASHINO

チケットに関するお問い合わせ

武蔵野文化事業団 Tel.0422-54-2011

武蔵野市とブラショフ市の友好関係は今から25年前、1992年に遡ります。当時の武蔵野市長によりブラショフ・フィルハーモニー交響楽団が初めて日本に招聘され、前年に同交響楽団の指揮者に就任した曾我大介氏のもと武蔵野・府中・立川・秋川(当時)の多摩地区4市にて公演を行い、4000人もの観客を集めて大成功を収めました。

以来曾我氏は定期的にオーケストラに招かれてコンサートシーズンのオープニングやファイナルコンサートの指揮者を務めるなど、密接な関係を続けてきました。特に2013年には新ホール「サーラ・パトリア」のオープニングの指揮者に抜擢され、ブラショフ市から名誉市民の称号を与えられています。25年ぶりの再来日となる今回も曾我大介氏の指揮により、ベートーヴェンの最高傑作「第九交響曲」を市民とともに高らかに歌い上げます。

Profile プロフィール

ルーマニア・ブラショフ・フィルハーモニー交響楽団

Filarmonica Braşov Orchestra Simfonică



1878年、作曲家・指揮者アントン・ブランダーの下でブラショフ・フィルハーモニー協会の第1回コンサートが行われて発足した。第一次大戦、第二次大戦の中断期を経て、指揮者ディズ・ニクレスクのもと、ジョルジュ・デュマ国立フィルハーモニー交響楽団として再スタートを切り、イラリオン・イオネスク・ガラツィ、エマニュエル・エレネスク、オヴィディウ・ダン・キリラ、そして現在のリビウ・マテシュが音楽監督を務めて今に至る。海外ツアーも多く、フランス、ドイツ、スイス、スペイン、オランダ、トルコ、ハンガリー、ロシア、ポーランド、イタリア、ハンガリー、オーストリア、日本など世界各国から招かれている。これまでに、R・シュトラウス、ワインガルトナー、エネスク、バルトーク、カザルス、カサド、シルベストリ、ケンプ、ルプー、コンドラシン、コーガン、ベルマン、ボベスコ、マルコヴィチ、チッコリーニなど、歴史的な指揮者・ソリストが共演しており、日本からは曾我大介や堤剛が客演した。

曾我大介 Daisuke Soga, Conductor

オフィシャルホームページ www.soga.jp/

桐朋学園大学、ウィーン音楽大学等で、B.ハイティンク、G.シノーポリ、I.ムーシン、U.ラーヨビッチ、小澤征爾、田中雅彦、I.ケプテア、森正の諸氏に学び、1989年ルーマニア国立音楽院在学中にルーマニアでデビュー。1993年ブザンソン、1998年コンドラシンの二大指揮者コンクールで第1位。以降日本はもとより、ヨーロッパ、南米を中心に世界各地のオーケストラに客演を重ね、2015年6月にはベルリン・フィルハーモニーホールにおけるベルリン交響楽団ベートーヴェン「第九」公演を指揮するなど活躍を続けている。ルーマニア国立放送交響楽団首席客演指揮者、大阪シンフォニカー交響楽団音楽監督などを歴任し、現在東京ニューシティ管弦楽団正指揮者、ブラジル・ロンドリーナ音楽祭首席指揮者。音楽祭や講習会の講師、コンクール審査員、また近年は作曲家としても活躍し、その作品は日本をはじめ世界各国で演奏されている。著書に『「第九」虎の巻 歌う人・弾く人・聴く人のためのガイドブック』(音楽之友社)「聴きたい曲が見つかる!クラシック入門」(技術評論社)など。デルタ・クラシックスより、東京ニューシティ管弦楽団とのCDがリリース中。ルーマニア・ブラショフ市とブラジル・ロンドリーナ市より名誉市民の称号が贈られている。



清水理恵(ソプラノ) Rie Shimizu, Soprano

東京音楽大学オペラコース卒業。同大学同コース研究生修了。2003年、2011年、イタリア・ボローニャに短期留学。第41回日伊音楽コンクール第2位。第7回東京音楽コンクール第1位、及び聴衆賞。「椿姫」ヴィオレッタ、「リゴレット」ジルダ、「ラ・ボエーム」ムゼッタ、「ジャンニ・スキッキ」ラウレッタ、「魔笛」パミーナ、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル等のオペラに出演。藤原歌劇団公演に於いては、「ファルスタッフ」ナンネッタ、「ランスへの旅」フォルヴィル伯爵夫人等に出演。また、「第九」、モーツァルト「戴冠ミサ」、モーツァルト「八短調ミサ」、フォーレ「レクイエム」、ヴィヴァルディ「グロリア」等のソプラノ・ソロを務める。2015年東京文化会館小ホールでのリサイタルに於いて、好評を博す。藤原歌劇団団員。



芹澤佳通(テノール) Serizawa Yoshimichi, Tenor

国立音楽大学音楽学部声楽学科、ボローニャ国立音楽院声楽コース卒業。第20回静岡県学生音楽コンクール声楽部門第2位。第38回イタリア声楽コンクール「ミラノ大賞」および松下電器賞受賞。第11回長江杯国際音楽コンクール声楽(一般の部A)第1位ならびにテノール特別賞受賞。コンコルソ・ズッケリ2012(ボローニャ)第2位。第6回東京国際声楽コンクール一般部門最高位および東京新聞賞受賞の他、受賞歴多数。2013年、ボローニャ国立音楽院卒業試験を満点にて修了しディプロマを取得。オペラではこれまでに、プッチーニ「ラ・ボエーム」、「ジャンニ・スキッキ」、ヴェルディ「椿姫」、レオンカヴァッロ「道化師」等に出演。ソリストとしてはモーツァルト「戴冠ミサ」、「レクイエム」ベートーヴェン「交響曲第九番」、「ミサ曲ハ長調」、ロッシニ「小荘厳ミサ」、フランク「十字架上のキリストの最後の7つの言葉」等、数々の演奏会に出演。2015年、ロームシアター京都竣工式に於いて小澤征爾指揮の下、第九テノールソリストを務める。二期会会員。



高野百合絵(アルト) Yurie Takano, Alto

東京音楽大学付属高等学校及び同大学を首席で卒業。同大学院に首席で入学し特別特待生として在学中。一昨年ボストンへ留学。2011年全日本学生音楽コンクール東京大会第1位・全国大会第1位、及び日本放送協会賞受賞。日本クラシック音楽コンクール全国大会第1位併せてグランプリ賞受賞。日本演奏家コンクール第1位、及び神奈川県教育委員会賞受賞。3つのすべてで第1位という三冠を達成。2012年甲子園にて選抜高校野球大会で国歌独唱。昨年12月再び甲子園にて全日本大学アメリカンフットボール大会決勝戦「甲子園ボウル」で国歌独唱。一昨年「全国豊かな海づくり大会」にて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。再び今年5月「全国植樹祭」にて御前演奏を行う。また昨年G7環境大臣会合にて演奏。国内ではクラシックオーケストラ・関西フィルハーモニー管弦楽団・リベラルアンサンブルオーケストラ等と共演。海外では昨年3月曾我大介指揮、ルーマニア国立ジョルジュ・エネスク・フィルハーモニーと共演。ヨーロッパデビューを果たす。東日本大震災及び熊本地震の支援コンサート等、支援活動も積極的に行う。確井智子氏、菅有実子氏に師事。



吉川健一(バリトン) Kenichi Yoshikawa, Baritone

国立音楽大学卒業、同大学院修了。二期会研修所プロフェッショナルコース第6期修了。トルトーナ国際音楽コンクール(伊)、ラッコニージ国際音楽コンクール(伊)、第20回楽聖堂日本歌曲コンクールで各入賞。「フィガロの結婚」でオペラデビュー後、渡伊。世界的名バリトン、パオロ・ココニ氏の愛弟子として研鑽を積みながら、イタリア各地の歌劇場に出演。帰国後、実相寺昭雄演出・二期会公演「魔笛」パバゲーノ役で二期会デビュー。その後、新国立劇場「オルフェオとエウリディーチェ」【ロジ・ファン・トゥッテ】(特別演奏会)、「沈黙」、「ピーター・グラ임ズ」【夕鶴】「蝶々夫人」、2013年東京・春・音楽祭「ファルスタッフ」タイトルロール等の公演で好評を博した。その他、近年はコンサートソリストとしても活躍し、日本フィル(西本智美指揮)札幌(尾高忠明指揮)ベートーヴェン「第九」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、バッハ「ヨハネ受難曲」【短調ミサ】、ヘンデル「メサイヤ」、モーツァルト「戴冠ミサ」、フォーレ「レクイエム」、ラッター「子供のためのミサ曲」、ハイドン「バウケンミサ」【ネルソンミサ】、ライヒャ「レクイエム」(日本初演)等の歌唱が好評を得ている。二期会会員。公式サイト <http://keny.ciao.jp/>